



「つながる。ハーベスト」第3弾

SAPPORO Incubation Hub DRIVE

高輪 健人 氏



北海道のオスシメのワーク施設とそこで出会いを創り出す「コンシエルジュ」をご紹介します。「つながる。ハーベスト」。

その第1弾として、SAPPORO Incubation Hub DRIVE「ミニティマネージャーを務める高輪健人さん」にお話をお伺いしました。



Utteranceのきっかけ

高輪さんは札幌市ご出身で、アイルランド留学や東京の企業でマーケティングに携わられた経歴をお持ちですが、なぜ札幌に戻られ、DRIVEに勤められることになったのでしょうか。

いつか北海道に戻りたいと思っていたのですが、東京で働いている時にたまたま五十嵐さん(大人座、第1弾で紹介)とご縁でつながって、DRIVEの存在や、北海道で新しいムーブメントが起きていることを聞き、面白そうだなと思ったのがきっかけですね。

元々「weWork」というフレキシブルオフィスを提供・運営する会社でマーケティングに携わっており、「ワーキングスペースが持つ可能性や」、「ミニティマネージャーの魅力を身近に感じていたこと」もあります。「ミニティマネージャーの役割は「運営視点」と

「経営視点」で様々ありますが、特に重要だと思っているのは、いかに多くの「きっかけづくり」ができるかということとです。エージェントではないので「入会すると必ず何か生まれます」と確約はできません。ですが、だからこそ予想もしていないことが起こる。そんなことを身近で感じることができるのが「ミニティマネージャーの魅力の一つで、やりがいのあるポジションだ」と思い、是非にという形で昨年3月に戻ってきました。



インキュベーションハブとしての取組

この施設の特徴や取組について教えてくださいいただけますでしょうか。

まず、DRIVEが会員へ提供している価値は2つあります。「ホスピタリティ」と「インキュベーション」です。

1つめの「ホスピタリティ」は、快適なオフィス環境の提供であり、常に清潔を保ち、提供を公言している設備への不自由さが無いことを指します。これは多くのコワーキコワーキングスペースでも実施していることだと思えます。

2つめの「インキュベーション」は会員へビジネス成長のきっかけを提供することです。具体的には、4月からスタートアップをサポートする新プランを始めたり、25の起業家シェアハウスとのコラボ、道内外のビジネス最前線の方を招いたトークイベントや、ビジネスパフォーマンスを最大化させるための朝ヨガや整体を開催しています。その他、様々なきっかけづくりを行っているので、ぜひホームページをご覧くださいませという感じです！

※事業の創出や創業を支援するサービス・活動

つながる。HUB SAPPORO Incubation Hub DRIVE

札幌中心部に位置する道内最大級のコワーキングスペース。イベントでの利用も可能な他、シェアオフィスも設置。利用者同士の交流やマッチングを促進する「コミュニティマネージャー」が常駐し、プロジェクト創出を支援。



住所：札幌市中央区大通西3-6
北海道新聞本社ビル2F
(地下鉄大通駅から徒歩3分)

H P : <https://sih-d.jp/>
※営業時間、料金等詳細はHPをご確認下さい



施設のコンセプト

集う人が無数につながって
新たな価値を創造する

DRIVE HP

つながる。インタビュー



インタビューに応じる高輪氏。ゲーミングチェアが設置されたブースもあり、eスポーツでの利用もできる。

様々なメニューを提供されていることが分かりましたが、利用者からも「こういうことやりたいんだけど」と相談されることがあるかと思えます。その際には「ミニティマネージャーの高輪さんがきっかけづくりをされるというわけですね。」

そうですね。全てに答えられる訳ではないですが(笑)ハブになることはできるので、DRIVEの利用者同士はもちろん、東京に住んでいた頃の人脈や、他のコワーキングスペースの利用者につながることもあります。

初めて利用される方の3分の1が道外から来られますが、ふらっと寄っていたら、「札幌に支社をつくりたいんだよね」とか「実はこういうアイデアがあるんだけど、誰かにつなげてくれないか?」という相談が結構ありますね。

具体的に「こういう方やコミュニティなら紹介できる」という分野などがあれば教えてください。

つながる。プロジェクト
北海道のスタートアップコミュニティ
Spread Hokkaido

起業・スタートアップやデジタル・新領域ビジネスについて「知る・学ぶ」ことを目的に、大学生や若手社会人をターゲットとする新規事業創出プログラム。ソフトバンク(株)やスタートアップ企業での勤務後に北海道へUターンし、(株)POLAR SHORTCUTを創業した大久保氏と若手起業家の種市氏が、DRIVEで日常的に意見交換する中で生まれた取組。



詳細は
POLAR SHORTCUT
HPをご覧ください



DRIVEもつながる
エピソード

大前提として、紹介を受けたという方が信用できる方かを見極めた上での紹介を心がけています。その上で申し上げると、難しいですね(笑) DRIVEは幅広い年齢層の方がいらつしやいます。何かにチャレンジしようとしている学生もいますし、「NoMaps」という札幌で開催されているクリエイティブカンファレンスに登壇されている方にも多くのDRIVE会員がいます。「ここに来たら面白い人に会える」というのが少しずつ浸透しているかと思うので、気になる方は是非一度ご来館いただけたらうれしいです！

——利用者の方向士がつながって生まれた取組やエピソードを教えてください。

24歳の起業家の種市慎太郎君と、2年前にUターンされてきた大久保徳彦さんが立ち上げた、スタートアップ創出を目的とした新規事業創出プロジェクト「Spread(スプレッド)」等があります。

——きっかけは高輪さんがつないだのでしょうか？

基本「ばったり」ですね。カウンターでよくそういうことが起こるんですけど、雑談というか、たまたまいたから一緒に話していたら、「こういうのあったらいいよね」「じゃあやるっかー」という感じで生まれていきますね。

アイデア出しは多くの人ができるもの、それを実動させることが一番難しいと感じていて、そこを動かせるメンバーが揃っているのが、DRIVEの大きな強みだと思っています。

つながる瞬間

これは前職の話になってしまいますが、「WeWork」で感じていたのは、大企業の新規事業部やマーケティング部だけがシェアオフィスを利用するケースもあり、大企業なので事業部長やその上でシェアオフィスに行くことが決まり、「言われたからシェアオフィスに来た」という社員の中にはいらつしやいました。

でも、その人たちも半年くらいたつと、コワーキングスペースでの人の出会いから新たなプロジェクトが生まれることが分かったり、「こういつく考え方あるのか、これできるじゃん!」とつながる瞬間がある

つながる。ヒト
SAPPORO Incubation Hub DRIVE
コミュニティマネージャー
高輪 健人 氏(株)大人



1993年札幌市生まれ。高校卒業後、アイルランドに渡り、現地で大学生活を過ごす。その後帰国し、(株)大塚商会、WeWork Japan 合同会社等でマーケティング業務に従事。2021年3月に約9年ぶりに札幌へUターンし、(株)大人に入社。「DRIVE」にてコミュニティマネージャーを務めながら、安平町移住・起業プログラム「Fanfare-あびら起業家カレッジ」のProgram Managerも担当。

ので、そういった場を札幌でもつくりたいと思ひ、いま取り組んでいます。

——ドロッピング料金も設けられており、初めての方も気軽に利用できる場所だと思ひますが、「こういう方に特に来て欲しい」といつ思ひはありますか？

スタートアップとかベンチャーの方には一番利用してもらいたいですね。特にこれからチャレンジしようとしている人たちや、いま現在チャレンジしている人には、めちゃくちゃ使つて欲しいです。

あと、僕の想ひとしては、サラリーマンの方にも使つて欲しくて、「もう無理だから」と諦めやすくなつてくれる人ほどここを訪れて、「あれ？自分もできるかも？」というきっかけを見つけてもらいたいですね。

——市外から来られた方から、「何か地元のおススメある？」と聞かれたときに、高輪さんは何をオススメしますか？

その方が何を目的としてくるかで変わりますが、まずはDRIVEに来ることですかね(笑)特に人や地域とのつながりが欲しいのであれば、ぜひ僕に話しかけてもらえればと思ひます。

——最後に、これからDRIVEに来られる方にメッセージをお願いします。

北海道は、今めちゃくちゃ面白くなつています。興味を持った仲間が集まり、一緒に面白いことを作つていくフェーズだと思ひます。北海道自体がベンチャー・スタートアップの一つとして頑張つているので、出来上がった場所でも働くだけでなく、作り上げていくフェーズで関わりたいと思ひついでいるのであれば、是非一緒にやりましょう。仲間募集しています！

——ありがとうございます！次回は津別町の「JIMBA」にお伺ひします！

つながる。場所



利用者がつながり、新たな取組が生まれるカウンター。株式会社ランドスキップが設置した壁面ディスプレイで季節感が感じられるほか、コーヒーなども自由に飲める。